



阪神・淡路大震災15周年記念事業

この事業は、「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。

第1回 防災・社会貢献ディベート大会

大会見学者
募集中

事前申込制
参加費無料

開催日 2010年 3月 22日 (月・祝)

時間 8:40 ~ 18:00 (受付 8:15 ~)

会場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
B号館3階

論題

自主防災組織の育成は 最も優先すべき防災対策である

Program

- 8:40~ 開会式
- 9:00~ ディベート大会予選
- 13:20~ 講演会「災害に強い街づくり
ー今私たちがなすべきことー」
中田 敬司氏
(東亜大学医療学部准教授)
- 14:40~ ディベート大会準決勝、決勝

※試合進行等から予定時間が多少変更になることを予めご了承ください



主催：第1回防災・社会貢献ディベート大会実行委員会 (構成団体：神戸学院大学、兵庫県、神戸学院大学附属高等学校、兵庫県立舞子高等学校、有限会社イメージリンク、株式会社シー・ディー・シー・インターナショナル)

共催：TKK3大学連携プロジェクト (東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学)、ポーアイ4大学連携推進センター (神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、兵庫医療大学)

技術・審査指導：岡野 勝志氏 (株式会社プロコンセプト研究所 代表取締役)

運営・競技指導：中田 敬司氏 (東亜大学医療学部准教授、神戸学院大学客員教授)

協賛：特定非営利活動法人 映像記録、有限会社 新進堂印刷所、株式会社 アマノ、株式会社一藝社、株式会社晃洋書房、株式会社人文書院

後援：アジア防災センター、国際復興支援プラットフォーム、財団法人兵庫県国際交流協会、阪神淡路大震災記念人と防災未来センター、JICA兵庫、朝日新聞社、共同通信社 神戸支局、神戸新聞社、産経新聞神戸総局、時事通信社、日本経済新聞社 神戸支社、毎日新聞社、読売新聞大阪本社、サンテレビジョン、NHK神戸放送局、株式会社エフエムわいわい、株式会社ラジオ関西、CODE海外災害援助市民センター、NGO活動教育研究センター

【見学申し込み方法】

ディベート大会見学 (講演会含む) をご希望の方は、メールにて「ご氏名」「連絡先 (電話番号もしくはEメールアドレス)」「参加人数」を明記の上、実行委員会 (debate@cdc-kobe.com) までお申し込み下さい。事前のお申込をお願いいたしますが、当日会場での受付も可能です。

ごあいさつ

2010年1月17日、私たちは阪神・淡路大震災から15周年を迎えました。震災の経験者には、他地域・次世代に対して防災や減災について、あるいは災害時のボランティアなどの社会貢献活動のあり方や必要性について伝えていくことが求められています。

防災活動やボランティア活動においては、原則や指針はありますが、こうすればよいという正解はありません。従って、知識だけでなく、その場の状況に臨機応変に対応する思考力と判断力が求められます。言い換えれば、防災や社会貢献について、知識を得るだけでなく、それを日常的に意識し、多くの人と意見を交えることで高め合うことが必要なのです。

この度、その機会の一つとすべく、防災や社会貢献をテーマとした教育ディベート大会を開催します。当大会では、ディベートを通して知識と意識を高めあうことで、広く社会に防災・社会貢献の意識を広めていくこと、更には市民や学生が交流することにより、防災・社会貢献に関するネットワーク構築に寄与することを目指します。

第1回防災・社会貢献ディベート大会

実行委員長 前林 清和

ディベートとは・・・

ある論題について異なる立場に分かれて討論することをディベート (debate) と呼び、近年わが国でも様々な教育目的のために行う教育ディベート (academic debate) が盛んになっています。多くの場合、教育ディベートは今大会のように競技ディベート (competitive debate) として行われます。

競技ディベートの目的は、単に討論者の優劣や勝ち負けを争うのではなく、討論に向けて準備し、実際に討論し、討論の経緯を振り返るといった一連の過程を通して、参加者全員が与えられたテーマに対してより深い理解を得ることにあります。

この大会では・・・

第1回防災・社会貢献ディベート大会は、「自主防災組織の育成は最も優先すべき防災対策である」という論題について多くの社会人・大学生・高校生チームがその説得力を競い合います。今回参加する16チームはまず4つのグループに分かれ、各チーム2回対戦を行います。各グループの1位になったチーム(4チーム)が準決勝へ、準決勝の勝者が決勝へ進み優勝チームを決めます。

競技は通常の教育ディベートのルールに則って行います。審査には、競技・審査経験の豊富な企業経営者の方々に当たって頂きます。また、競技としてのディベートとは別に、「防災・社会貢献」に関する議論において著しい貢献のあったチームに対し実行委員長から特別賞を贈呈します。

講演会

今大会の趣旨に合わせ、準決勝の前に防災・社会貢献をテーマとした講演会を行います。

講演者：中田 敬司氏(東亜大学医療学部准教授、神戸学院大学客員教授)

演 題：災害に強い街づくりー今私たちがなすべきことー

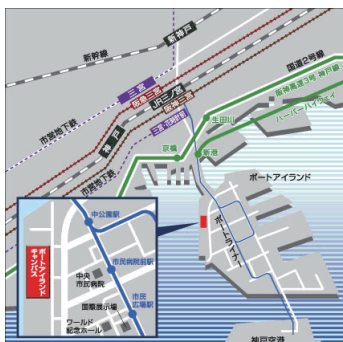
略 歴：1959年愛媛県生まれ。広島市消防局航空・国際消防救助隊及び(財)広島市防災センター指導課主事を歴任。国際緊急援助隊(JDR)医療チームとしてコロンビア・トルコ・台湾、さらにイラン・スリランカ各国の地震・津波災害救援活動に従事。また07年ジャワ中部地震事後調査、08年フィリピン災害医療援助スタディツアーを企画運営する。

現在、日本医科大学大学院医学研究科博士課程で災害医療分野の研究活動中。

専門は、「防災・災害医療・労働安全衛生」分野。



会場のご案内



JR三宮駅、阪急、阪神・
地下鉄「三宮」駅より
神戸新交通ポートライナー
「市民病院前」駅下車。
西へ徒歩6分。

【キャンパス拡大図】

会場(B号館3階)

